

9月定例会
総括質問
主な質問と答弁

永田 美典 議員

ツインシティ整備推進事業

問 今年度中の土地区画整理組合の設立が厳しくなると報告があったが、組合施行による土地区画整理は可能なか。
市長 柔軟な換地計画が立てられる組合施行は最適な手法であり、可能性が高い。

問 組合設立に向け、9月中に終わるべき仕事は何か。
都市整備部長 同意率を8割にして認可申請をすることが必要である。

問 進出してくる企業からの税収の見込みは示せるか。
都市整備部長 年間で、法人市民税1.8億円、固定資産税10.8億円、都市計画税1.5億円、個人市民税1.9億円の計15億円程度と試算している。

公明ひらつか

が出なかつた場合のペナルティーは考えているのか。

都市整備部長 準備会はそれぞれと組合設立認可の日までの業務の基本協定を結び、その中で年度別に契約をしている。年度の成果物に不足がなければペナルティーは考えない。

問 移転する相模小学校の開校が遅れるとの見解があるが、今後どうするのか。
学校教育部長 進捗に応じた対応できるよう準備する。

見附台周辺地区整備

問 市民センターの耐震診断の結果が基準未満の場合、管理・運営はどうするのか。
市長 診断の内容や程度を把握し、慎重に判断する。

小笠原千恵美 議員

市立幼稚園の保育料等の徴収に関する条例の改正

問 公立幼稚園の入園料廃止などに伴い市の条例を改正するが、新制度導入後の保護者の負担はどのようになるのか。

声・点字 議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、朗読による「声の議会だより」と点字版の「議会だより」を作成しています。

ご希望の方は議会局まで連絡してください。



議会局 (☎21-8791)

問 中心市街地周辺を合わせた全体計画の必要性は。

市長 コンパクトシティを目指す全体計画の必要性は認識している。

問 崇善公民館は別途、措置を講ずるべきではないか。
市長 方向性を見出したい。

「公共施設等総合管理計画」の策定

問 国が「公共施設等総合管理計画」を策定するよう通知したが、本市はどのように推進するのか。
市長 施設関連の計画の策定などに取り組んでいる。

問 市の全施設の長寿命化は再考すべきではないか。
企画政策部長 公共施設白

消費者教育の推進

問 SNS(ソーシャル・ネットワーク)やショッピング・サービスのトラブルが多発しているが、消費者教育の現状を伺いたい。

市民部長 中学校では、消費生活相談員が講座を開き、注意喚起している。高齢者には、被害の未然防止に向け、庁内で連携して講座を開くなどしている。

問 消費生活センターの組織や運営についての条例の内容と制定時期を伺いたい。

書では全施設の長寿命化を試算したが、実現可能性がなく見直しの必要がある。

問 公共施設白書を有効な事業計画へと移行できるか。
企画政策部長 白書を踏まえ、全体計画から個別の実行計画を作る。

問 管理の手段として固定資産台帳を使つてはどうか。
企画政策部長 整理して一元的な管理をしていきたい。

非構造部材の対策

問 教育施設非構造部材の点検について、今後の実施予定や概算工費を伺う。
企画政策部長 小学校で6年、中学校で8年かから、

問 そのほか、公共施設の総点検や対策について伺う。
企画政策部長 この2年間は進んでいない。公共建築

市民部長

条例には、高齢者を標的に詐欺的行為を行う悪質な事業者への指導や勧告、事業者名の公表などの権限を盛り込む方向で検討し、平成27年12月議会の

問 市のホームページに積極的に育児をする男性「イクメン」を応援するサイトへのリンクを設け、情報提供を推進したらどうか。
市民部長 早速対応したい。

問 市役所でも管理職に、仕事と生活との調和を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の研修や部下の育児参加を応援する「イクボス

物点検マニュアルは改訂したが、何を行うか検討する。

問 普通学級での発達障がい児支援について伺う。

秋澤 雅久 議員

市民病院の将来像

問 3月定例会で「将来的に、市民病院は高度急性期病院を目指す」と答弁されたが、国が医療再編で病床機能の分化として位置づけられた「高度急性期病院」を目指すのか。

病院事業管理者 「高度急性期医療を提供できる病院」という意味である。

市民部長

研修を実施したらどうか。
総務部長 職場を取り巻く環境整備や管理が大切である。特定の研修を行うだけでなく、バランスの取れた職場を作りたい。

問 市のホームページに積極的に育児をする男性「イクメン」を応援するサイトへのリンクを設け、情報提供を推進したらどうか。
市民部長 早速対応したい。

問 市役所でも管理職に、仕事と生活との調和を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の研修や部下の育児参加を応援する「イクボス

健康・こども部長 発達の段階に応じた支援が必要で、5歳児健診で早期発見し、支援していくことが有効である。幼稚園・保育園に通わない5歳児にも健診を周知するよう計画している。

問 普通学級での発達障がい児支援について伺う。

秋澤 雅久 議員

市民病院の将来像

問 3月定例会で「将来的に、市民病院は高度急性期病院を目指す」と答弁されたが、国が医療再編で病床機能の分化として位置づけられた「高度急性期病院」を目指すのか。

病院事業管理者 「高度急性期医療を提供できる病院」という意味である。

市民部長

研修を実施したらどうか。
総務部長 職場を取り巻く環境整備や管理が大切である。特定の研修を行うだけでなく、バランスの取れた職場を作りたい。

問 市のホームページに積極的に育児をする男性「イクメン」を応援するサイトへのリンクを設け、情報提供を推進したらどうか。
市民部長 早速対応したい。

問 市役所でも管理職に、仕事と生活との調和を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の研修や部下の育児参加を応援する「イクボス

常任委員会の審査概要

都市建設常任委員会

議案5件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第55号「平塚市防災会議条例の一部を改正する条例」

問 平塚市防災会議の委員に自衛官を加えることで、本市に対する自衛隊の災害時の対応が変わってくるのか。
答 自衛隊と日ごろから連絡を取り合うことで、市の体制や自衛隊の動きについてお互いの理解が深まり、災害が発生したときに自衛隊の迅速な救助活動が期待できる。

議案第64号「平成26年度平塚市一般会計補正予算」

問 土木費を補正して行う平塚郵便局前の交差点改良に対する調査委託で、交通の解析はできるのか。
答 平塚郵便局前の5差路の交差点の交通量調査や、江陽中学校前の一方向通行の解消に向けた交通シミュレーションの業務を委託し、最適な交差点改良を解析する。

環境厚生常任委員会

議案7件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第53号「平塚市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例」

問 新制度に移行すると、乳幼児の保育所への入所待機は解消されるのか。
答 保育所定員の確保策については、これまで進めてきた認可保育所の施設整備と定員の弾力運用で解決できるものと考えている。

議案第54号「平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」

問 放課後児童健全育成事業が市の事業となるか、何がどう変わるのか。
答 市の業務が増え、各放課後児童クラブは、施設の設備や運営の基準について、市に定期的な報告をすることになる。

議案第64号「平成26年度平塚市一般会計補正予算」

問 衛生費で、今回試行的に始める蛍光管の分別処理に関する補正を行うが、今後の本格運用に対する考え方を伺う。
答 今回は、廃蛍光管類の収集、一時保管、適正処理の方法などについて検証する。さらに排出量などの基礎的なデータも収集した中で、平成27年度の本格運用を目指していきたい。